

関係府省への調査依頼について

平成 21 年度フォローアップ（「分野別推進戦略」）を実施するため、関係府省に対して、以下の情報提供への協力を依頼する。

○ 様式 1

「重要な研究開発課題（273 課題）」を対象として、中間フォローアップ時（H21.5）に報告してもらった様式に、以下の項目を追加的に記載してもらおう。

- ① 平成 21 年度予算（最終額、億円）
- ② 平成 21 年度の重要な取組み（具体的な成果、研究開発計画の見直し等）
- ③ 目標達成のための課題
- ④ 研究開発の国際的な位置づけ・意義

なお、中間フォローアップ時に「研究開発目標の達成状況（5 段階）」が、■又は■■であった課題については、②に、その後の対応状況を記載してもらおう。

○ 様式 2

「戦略重点科学技術（62 課題）」を対象として、関係府省における予算の重点化状況（平成 18～22 年度）を、施策ごとに記載してもらおう。

様式1 【〇〇分野】 重要な研究開発課題の進捗状況

重要な研究開発課題	概要	研究開発目標 (:計画期間中の研究開発目標、 :最終的な研究開発目標)	H18～20予算 (億円)	中間フォローアップ(H21.5)時点の「研究開発目標の達成状況」	H21予算 (億円)	H21の重要な取組み(具体的な成果、研究開発計画の見直し等)	現在の進捗状況からみた「目標達成のための課題」	現在の進捗状況からみた「国際的な位置づけ・意義」
..... -1に対して.....を提供できるネットワークを実現する。	2010年までに、.....するための技術を実現する。【〇〇省】 2009年度までに、.....を実現する技術を確立する。【〇〇省】						

留意事項

○「研究開発目標の達成状況」は、研究開発目標に対する2008年度末時点での達成水準を5段階で表す。
 :すでに計画期間中(2010年度末まで)の研究開発目標を達成した。 :当初計画以上に進捗しており、計画期間中の研究開発目標達成まであと一步のところ。
 :当初計画どおり、順調に進捗している。 :当初計画と比べて、若干の遅れが生じている。 :当初計画に比べて、かなりの遅れが生じている。(研究開発目標の達成が危ぶまれる状況)

「目標達成のための課題」については、計画期間終了時に研究開発目標を達成するために今後対処すべき課題等を記載する。

「国際的な位置づけ・意義」については、出来る限り客観的・定量的な根拠のあるものを記載する。

様式2 【〇〇分野】 戦略重点科学技術一覧

(単位:百万円)

戦略重点科学技術	対象となる各省施策	府省名	H18予算	H19予算	H20予算	H21予算	H22予算	備考
分野合計			0	0	0	0	0	
		省						
		省						
		省						
		省						
小計			0	0	0	0	0	
		省						
		省						
		省						
小計			0	0	0	0	0	